

南稜高校魅力化推進コーディネート業務 公募型プロポーザル 質問回答書

あさぎり町 企画政策課

No.	質問	回答
1	南稜高校の現状分析に使用する「生徒の進路傾向、入学者属性等の各種データ」について、当該データは委託者または南稜高校から提供いただけるものでしょうか。	現状分析に必要となる「生徒の進路傾向、入学者属性等の各種データ」については、委託者（あさぎり町）が南稜高校と調整のうえ、個人が特定されない集計・匿名化データを基本として提供調整いたします。
2	生徒および教職員へのヒアリングについて、対象人数や実施方法に関して、想定されている内容があればご教示ください。	仕様書では、生徒・教職員へのヒアリング実施を求めています。対象人数や手法の詳細は規定していません。そのため、学校行事や時間割等を踏まえ、町・学校・受託者で協議して確定します。
3	【特別支援教育】授業や行事等の視察について、受託者が実施する回数や頻度の目安があればお知らせください。	仕様書では、生徒・教職員へのヒアリング実施を求めています。対象人数や手法の詳細は規定していません。そのため、学校行事や時間割等を踏まえ、町・学校・受託者で協議して確定します。
4	【特別支援教育】受託者に求められる専門的知見の範囲および深度について、想定されているレベルがあればご提示ください。	実施要領では、「仕様書に示す業務内容を、公正かつ的確に遂行し得る者」を参加要件としています。したがって、特別支援教育の校内運営・合理的配慮・個別支援の実務を俯瞰し、観察・ヒアリング等から体制評価と改善提案へ落とし込める知見が求められます（特定の資格を必須とはしていません）。
5	【特別支援教育】把握すべき項目（例：支援体制の構造、教職員の配置、支援ニーズの傾向等）に関して、参考となる指針や観点があればご教示ください。	仕様書は把握対象を「特別支援教育への対応体制」としており、細目は規定していません。最終的には学校事情に合わせ三者協議で確定します。

6	コンソーシアムの設置主体および事務局の担い手について、現時点での想定があればご教示いただけますでしょうか？	現時点で設置主体・事務局の最終決定はしていません。行政・学校・地域・外部関係者を橋渡しする「コンソーシアム組織」の設立を支援しつつ、構成員の選定、運営計画、役員会開催等について、受託者が事務局機能の立ち上げ面で支援する想定です。最終的な担い手は、町・学校・関係者の協議により決定します。
7	コンソーシアム役員会の開催サポートについて、開催回数や頻度に関して想定されている目安があればご教示ください。	開催回数や頻度は書面での明記はありません。契約期間（契約日～令和8年3月31日）の中で、発足時のキックオフに加え、月1回～隔月程度を目安とし、議題・進捗に応じて三者協議で確定します。
8	本業務において、高校魅力化コーディネーターの候補者の選定・リクルートも受託者の業務範囲に含まれますか？また、役割や業務内容の検討・整理のみが対象となりますか？	基本スコープは「導入にかかる期待成果と業務計画の策定サポート」です。候補者の直接的な選定・リクルートは明示していませんが、必要に応じて「その他、町及び教育委員会が必要と認める事項」や「契約金額の範囲内での積極的な提案」など、協議条項の運用により追加対応が可能です（要協議）。
9	コンソーシアムの構築支援について、業務完了時点での到達目標（例：設立完了、構成員の確定、運営計画の策定など）に関する想定はありますか？また、スケジュール感について具体的な目安があればご教示ください。	<到達目標の想定> ① 構成員の選定支援完了（候補者の合意形成） ② 運営計画（規約・意思決定・会議体・事務局機能等）の策定 ③ 役員会の開催（少なくとも初回） ④ コーディネーターの期待成果・業務計画の整理 ⑤ 業務完了報告書の取りまとめ <スケジュールの目安> ● 10月：キックオフ ● 10-11月：現状把握・構成員候補調整 ● 11-12月：運営計画素案 ● 1-2月：役員会開催・最終案確定 ● 3月：報告書取りまとめ 実際のスケジュールは、行事・校務に合わせ、三者協議で柔軟に調整します。

※本回答は、仕様書および実施要領に基づくもので、詳細は町・学校・受託者の三者協議により確定します。